

湯川だより



第33号 2017/10/25
発行：御代田町 町民課

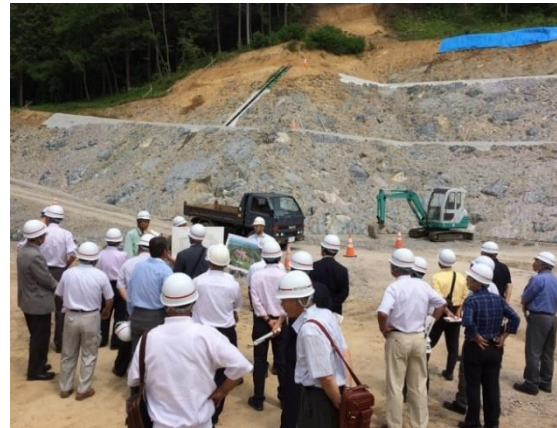
～安定したごみ処理の実現と新クリーンセンター整備に向けて～

区長会による施設用地造成工事現場視察について

6月27日、御代田町区長会による現場視察が行われました。区長の皆さんには、現場内を歩きながら、現在の工事状況を見ていただきました。

佐久市・北佐久郡環境施設組合からの事業に関する説明を受け、『補強材(補強土壁で使用)の長さはどのくらいか』といった施設用地造成工事に対する質問等が出されました。

(右)掘削した岩の斜面の前で、
工事の説明を受ける様子



組合議会 御代田町選出議員の変更について

9月10日の御代田町議会議員選挙の結果を受けて、町の議会構成が改選されました。それに伴いまして、佐久市・北佐久郡環境施設組合議会議員として、前回に引き続き笹沢武議員が選出され、池田健一郎議員に代わり茂木重幸議員が選出されました。組合議会の次期改選まで、笹沢議員は監査委員、茂木議員は議会運営委員の役職をそれぞれ担うこととなりました。

環境影響評価「事後調査報告書」を県へ提出

組合では、平成28年度に実施した新クリーンセンター建設に係る環境影響評価事後調査結果を取りまとめた事後調査報告書を長野県知事へ提出しました。この報告書は、平成29年7月21日から1か月間、県による縦覧が行われましたが、意見等はありませんでした。

今回の報告書には、工事開始前に先行して開始した動植物に対する環境保全措置に加え、大気質や騒音・振動といった生活環境系の調査結果も含まれています。調査した各項目は、環境影響評価における環境保全のための目標を満たした結果となりました。



▲沿道で実施した交通量調査の様子

豊昇区で環境影響評価事後調査を実施しました

新クリーンセンター施設用地造成工事での発生残土を御代田町豊昇区の公共工事で使用することとなり、残土運搬車両の走行に伴う影響を調べるため、大気質・騒音・振動についての事後調査を実施しました。結果は次号で、お知らせしていきます。

工事進捗状況をお知らせします

施設用地造成工事については、来年2月の竣工に向け、工事が進んでいます。

現在、盛土部分は、施設建設の地盤高までの掘削が完了し、切土部分は、約10mの高さとなる補強土壁(テールアルメ擁壁)の部分においても、仕上がりの高さとなっている状況です。また、施設への進入道路については、掘削作業が進み、法面部分においては、ブロック積工、植生工に着手しています。



① 高さ約10mの補強土壁(テールアルメ擁壁)です。一部が最上段まで積みあがりました。



▲出入口付近より [H29.10.18撮影]

② 進入道路の掘削状況及びブロック積工、植生工の現況です。



▲西(パラダ)側より [H29.10.18撮影]

ちよつとそこまで♪



御代田町観光キャラクター
みよたん

発見！ 1000年前の面替人の墨書「利」

手紙というものを書く機会がほとんどなくなっている気がしませんか。

いまやスマホの画面をタッチして送信を押せば瞬時にコミュニケーションがとれる

メールの時代。手紙というか、ペンをもって文字を書くことすら減ってきています。

実際、この文章もパソコンのキーボードをたたいて作成しています。まして筆をもつのは・・・書道などをやっていないかぎり、一般的には冠婚葬祭ののし袋の宛名書きくらいになったのかもしれない。

湯川沿い、クラインガルテンのある面替小谷ヶ沢遺跡から平成 25 年に発見された土器には、この地で 1000 年前に暮らしていた平安時代の人びとが筆で書いた文字=墨書が残されていました。しかも達筆で「利」とはっきり書いてあります。多くの「利」を享受できるようにと願い、縁起のいい文字を書いたのかもしれない。面替の平安人の息づかいが感じられる文字です。

今日、パソコンで CD などに保存される文章などのデータは 100 年も持たないともいわれています。それにつけても墨の文字が 1000 年という長い時を経て残されていることは驚きです。

墨と筆の織りなす文字の力に脱帽せざるをえません。（文：浅間縄文ミュージアム 堤 隆 氏）



▲ 湯川沿いに広がる面替小谷ヶ沢遺跡 縄文時代と平安時代の遺跡



◀ 墨書「利」 1000年たっても書いた墨は色あせていない。墨の保存性の良さに、つくづく驚かされる。「利」を得ることを願い書かれたのだろうか。



▲ 当時のカマド跡 石と粘土で作られた。真っ赤に焼けた内部の土が、カマドのくり返す使用を物語る。



▲ 平安時代 1000 年前の竪穴住居を発掘する様子。平安時代になっても人びとは縄文時代と変わらない竪穴住居に暮らしていた。どんな家庭生活がこの住居のなかにあったのだろう。（平成 25 年 5 月 23 日撮影）

編集後記

9 月 30 日、面替区大星神社周辺において『第 5 回アサギマルシェ@面替 & アサギマダラ観察会』が開催されました。晴天の空の下、広場には野菜やパン、手作りの雑貨など色とりどりの品物が並び、買い求める人たちとの間に明るい声が響いていました。

アサギマダラは、旅するチョウとも言われ、2,000km 飛ぶこともあるそうです。初めてアサギマダラを目にすると、この小さな体のどこにそんな力が潜んでいるのかなと不思議に思うのと同時に、ゆらゆらと優雅に飛ぶ姿に魅せられてしまう方も多いのではないのでしょうか。来年もこの場所に多くのアサギマダラが訪れ、たくさんの人の笑顔を運んでくれることを願っています。



▲ フジバカマの蜜を吸うアサギマダラ

【発 行】 御代田町役場 町民課 環境衛生係
御代田町大字御代田 2464 番地 2 電話：0267-32-3114（町民課直通）
【組合問合せ先】 佐久市・北佐久郡環境施設組合 事務局
佐久市中込 3056 番地（佐久市役所内） 電話：0267-62-2916